

日本市場に新たな息吹を

新しい外資系企業が日本に続々と上陸している。2019年10月に正式開業したVyvo Japanや、20年に正式開業を控えるロダン+フィールズ、一般医療機器のパッチを発売するLifeWave — の3社を紹介する。



清水直政ジェネラルマネージャー

LifeWave

一般医療機器の認可を取得した
パッチシールを展開



青木英ジェネラルマネージャー

LifeWave(ライフウェーブ、本社米カリフォルニア州)は、特許取得のパッチ製品を考案したデビッド・シュミットCEOによって、2004年に設立。パッチ製品9アイテムとスキンケア製品を世界70カ国以上に展開。米国やアイルランド、台湾に次いで、日本にオフィスを構えた。20年6月にタイ、同年中にはトルコのオープンを予定している。

日本は06年からNFR(個人輸入)で展開し、17年2月よりOTGに切り替えた。業績拡大に伴い、複数の外資系ネットワークビジネス主宰企業で管理部門を担当した青木英氏が19年4月1日付で、ジェネラルマネージャーに就任。現在、アクティブ会員は約1万人。19年12月期の売上高は15億円を見込んでいる。19年1月に投入した新製品「X39」の発売が好調の要因としている。

「X39」は、創設者のデビッド・シュミットCEOが8年間研究して開発した幹細胞の活性化を促すというパッチシール。国内の売り上げの5割を占めるほど、会員から好評を博しているという。

青木ジェネラルマネージャーは、「当社のパッチは、日本で一般医療機器の認可を取得している。そのため、会員からの信頼性が高く、リピート購入も多い」と語る。

現在、サービス体制の強化に努め、正式開業の準備を進めている。将来的にサロン展開を計画している。

ロダン+フィールズ

2人の現役皮膚科医が設立
来春日本で開業へ

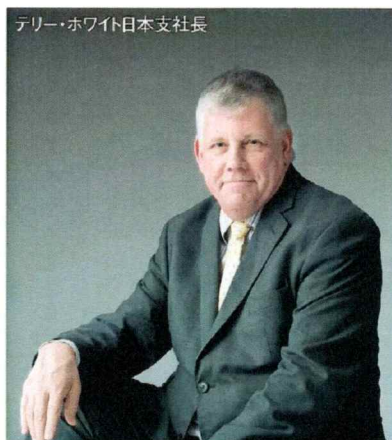
ロダン+フィールズ(ロダン・アンド・フィールズ、本社米カリフォルニア州、ダイヤモンド・ディーツ社長兼CEO)は、現役の皮膚科医であるケイティ・ロダン医師とキャシー・フィールズ医師によって、2007年に設立。皮膚科学に基づいたスキンケアを開発・販売している。グローバルの売上高は約2000億円で、米最大のプレミアムスキンケアブランドと言われる。

07年の米オープンに次いで15年にカナダ、17年にオーストラリアに進出。日本が4カ国目の展開となる。

すでに日本法人ロダン&フィールズジャパンを設立し、日本支社長には、ニューエイズジャパンやカイアニジャパンの社長を務めたテリー・ホワイト氏が6月1日付で就任した。来春の開業に向けて準備に着手している。

販売する製品は、日本人女性向けの「スキンケア・プログラム」を5年の歳月を費やして開発。日本人女性の臨床テストを行い、日本人の肌に最適で、実感できる効果があり、安全であることを考慮したという。

NFR(個人輸入)での販売は行わず、オープンと同時に会員(コンサルタント)登録を開始する。



テリー・ホワイト日本支社長

Vyvo Japan

19年10月に正式開業
エクスペリエンスセンターの
開設を計画

ウェアラブル製品を手がけるVyvo(ヴィーヴォ、ファビオ・ガルディ社長兼CEO)の日本法人Vyvo Japan(本社東京、清水直政ジェネラルマネージャー)は19年10月1日、日本で正式開業した。9月23日に開催したグランドオープニングにはメンバー約3500人が参加した。オープン後も新規会員が順調に伸びているという。

OTG(国内出荷)の製品ラインアップは、VYVOデバイスすべての機能を1つにまとめたスマートウォッチ「VYVO Vista+」と健康管理のためのスマート体重計「VYVO LEGGERA(レジェーラ)」の2アイテムで開始。アプリ「VYVO Smart App」をダウンロードすることで利用可能となる。心拍数等のバイタル測定機能とスポーツ関連測定機能を搭載し、ユーザー一人ひとりが結果を確認できるとしている。

現在、コンプライアンスを強化するためのセミナーを主要4都市(東京・大阪・名古屋・福岡)で開催している。

ビジネスを広める戦略として、一般顧客でも製品を体験できるエクスペリエンスセンターの開設を計画。まずは本社機能を併設したサロンを都内に作り、今後は主要4都市だけでなく、メンバーの多い地域にも開設する構想があるという。

グローバル市場では、11カ国に展開し、アジアが大きな割合を占めている。現在、台湾・香港・シンガポール・マレーシアに展開し、中国進出も予定している。グローバルの売上高は、毎年2ケタ以上の成長率を遂げている。



次世代スマートウォッチ
「VYVO Vista+」